

異文化理解サロン 「セネガルにおけるイスラム文化及びその国政への影響」

「違いで驚き、びっくりする」社会より「違いを受け入れる・活かす」と言う社会への転換を目指し、世界の様々な国の文化、習慣、現状、課題等について話を聞き、異文化に対する偏見をなくし、身近に触れ合う機会を府民に提供します。

外国人住民を講師として招き、自国の文化、社会、習慣、話題等についての講演及び交流・質疑応答・意見交換を通して異文化への理解を高め、地域の多文化共生に関心を持ってもらい、推進します。

日時： 2015年3月28日（土） 14:00～15:30

講師：

パパ サリオウ サール

セネガル出身 京都大学 アフリカ地域研究資料センター 特任助教 研究員

内容：

セネガルの全体的な紹介をしてから、イスラム教の基本を説明しました。それから、セネガルのそれぞれの民族とイスラムグループを紹介しました。最後に、セネガルの主なイスラム「スーフィ」を発展させたリーダーと国政への影響、正治との関係について解説しました。

その後、ディスカッションを行い、参加者が自由に講師に質問できました。

本講座を日本語で行いました。

会場： 京都府国際センター （京都駅ビル 9F）

参加者： 31名

主催： （公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * スセネガルにおけるイスラムの現状とその歴史や、セネガルを含み、最近のイスラム圏の国々、地域の動向について知ることができました。
- * TVなどでの一方的な情報ではなく、現実に関わっている人から話が聞けてとても良かったです。
- * めったに聞くことのできないお話が聞けました。

講座の様子：

